

「第10回紀伊半島三県議会交流会議」の開催結果について

1. 開催日 平成28年7月29日（金）
2. 開催場所 「奈良県立万葉文化館」（奈良県高市郡明日香村飛鳥10）
3. 参加者 奈良県議会議員（8名）、和歌山県議会議員（10名）、
三重県議会議員（9名） 計27名

職名	氏名
議長	中村進一
副議長	日沖正信
議員	稲森稔尚
議員	藤根正典
議員	濱井初男
議員	大久保孝栄
議員	東豊
議員	津村衛
議員	中森博文

4. 会議では、下記の3項目について、三県が連携して取り組んでいくことで合意しました。

(1) 紀伊半島地域における若者の移住・定住の促進について

各県において、ホームページやパンフレットなどにより、その県での暮らしの魅力情報を発信するとともに、相談窓口を県内や東京に開設して、移住希望者に対して、きめ細やかな対応をしていることについて意見が出された。また、移住体験に関する取組や移住者に対する支援についての意見が出された。

すでに三県で実施している、首都圏での移住プロモーションを継続し、紀伊半島での暮らしやその魅力を引き続き発信していくことについて合意した。

(2) 大規模災害対策について

南海トラフ地震の発生が危惧される中、熊本地震と同様に、活断層による直下型地震の発生も考慮した地震対策を進める必要がある。

大規模災害発生時には、自県内のみの救助機関の活動や備蓄等では対応が困難であることから、受援体制の検討を進める計画の策定の必要性や、人命救助や救援

物資輸送等のため、幹線道路の通行不能を想定した救助・救援ルート確保について意見が出された。また、被災地支援の拠点となるヘリポートを併設した自衛隊駐屯地の誘致活動について意見が出された。

既に締結されている三県を含む広域的な協定などの具体的な内容を充実させていくとともに、三県の相互応援体制をさらに連携強化する必要性について合意した。

(3) 観光振興について

「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年や本年5月に開催された伊勢志摩サミットを契機として、国内外の人々を呼び込むため、歴史文化資源を活用した誘客促進、体験型観光の販路拡大、更なる観光資源の整備などの意見が出された。特に外国人観光客の誘客促進のため、外国人観光客のニーズに応じた環境整備拡充について意見が出された。

世界遺産登録地域において三県が連携して取り組んでいる「吉野・高野・熊野の国」事業の推進をはじめ、さらなる誘客促進に向けて、歴史・文化、豊かな自然などを三県が連携して情報発信していくことを確認するとともに、外国人観光客の受入環境整備推進のための支援拡充に向けて、国に要望していくことについて合意した。

5. 今後の予定

外国人観光客の受入環境整備推進のための支援拡充に向けては、今後、開催県である奈良県議会において要望書を取りまとめ、三県議長の連名で国等に要望書を提出します。